

【コミッション概要】

構成組織：高野町・田辺市・金剛峯寺・高野町観光協会・高野山宿坊協会・龍神観光協会・和歌山県観光連盟・和歌山県陸上競技協会・和歌山県旅館ホテル生活衛生同業組合・JTB・JR西日本・南海電鉄 他

設立年次：平成27年度

S C 特徴：高野山と日本三美人の湯のひとつ龍神温泉を結ぶ高野龍神スカイラインを走破する日本一過酷なウルトラマラソンを開催

HP：http://jtbsports.jp/contents/koyaryujin/

【主な取組例】

① 高野山・龍神温泉ウルトラマラソンの開催

平成30年6月10日第2回高野山・龍神温泉ウルトラマラソンを開催。参加者数100kmの部419名・完走率53.5%、50kmの部388名・完走率88.1%。沿線の市町村の協力によりランナーのおもてなしを充実。「日本一過酷」を売り言葉に、今後も毎年開催を目指す。

高野山を開創した弘法大師空海は、歩くことを修行の一環と捉え「歩行(ぶぎょう)」と呼んだ。高野山・龍神温泉ウルトラマラソンは、お大師様の考えに触れ、「走ることの意味」を考える大会でもある。

② 海外ランナーの募集

第2回大会を開催するに当たり、アジア圏を中心とした海外ランナーの募集に力を入れる。その結果、上海やシンガポールを中心に31名の海外ランナーが参加。

高野山には、世界遺産・歴史・伝統文化を求め、84,333名(平成29年)の外国人観光客が宿泊している。今後インバウンドの多様化の中、このような「スポーツ」という新たな切り口での誘致は高野地域にとって重要になると考えられる。

③ 資産の棚卸し

コミッション参加団体の資産を活用した新たなスポーツ交流の在り方を模索。地域資産の棚卸しと、その利活用の方法を検討。

